

(仮称) 田川地区消防本部消防指令センター新庁舎建設工事設計業務委託概要

1 施設名称

(仮称) 田川地区消防本部消防指令センター

2 敷地概要

- (1) 建設場所 田川市大字川宮 1 5 7 0 番地 (旧テニスコート跡地+モデル避難地)
- (2) 敷地面積 1,700 m²、庁舎面積 1,000 m²程度
- (3) 区域区分 都市計画区域内
- (4) 用途地域 第1種中高層住居専用地域
- (5) 防火地域 指定なし

3 新消防庁舎概要

- (1) 防災活動拠点及び有事の際に避難所としての機能を発揮できる庁舎

日常の行政機能の拡充を図るとともに、大規模災害等発生時に災害対策の指揮及び情報伝達を行う防災活動拠点として機能が維持でき、更に住民が有事の際に安心安全に避難所として活用するため、所要の耐震性能を有する安全性の高い消防庁舎の施設整備維持管理を実施する。

- (2) 高度情報化時代に対応した庁舎の整備

高度情報化社会の進展により、消防業務においても今後ますます情報量が多種多様で膨大な量にのぼることが予想される。効率的な行政サービスを邁進するために、消防業務IT化を推進するとともに、将来の消防IT基盤整備に柔軟に対応できる施設とする。

- (3) 住民に開かれた、人と環境にやさしい長寿命化に配慮した消防庁舎の整備

防災の広告塔としてユニバーサルデザインを取り入れ、住民に開かれた人にやさしい施設とし、住民サービスや事務の効率化及び男女共同参画社会基本法に適應した一般行政機能として充実していること。

さらに、地球環境保全に対する取り組みとして新エネルギーの採用を図るとともに全ての人が利用しやすい庁舎環境を考慮し、長寿命化に安定した機能保持と省電力、冷暖房効率などの環境負荷の低減に配慮すること。

4 新消防庁舎の建物概要

- (1) 棟概要 消防庁舎 RC造 2階建て 延べ面積 1,000㎡程度
- (2) 配置人員 22名(20名(当直者10名)×2交代制+日勤者2名)
- (3) 庁舎主要 各諸室の構成区分を庁舎内(1階、2階)と付属等とする。

ア 1階

出入口(職員用、外来者用)、風除室(職員用、外来者用)、ラウンジ、小会議室(3部屋)、大会議室、録音室、倉庫、給湯室、トイレ(男・女・身障者)、脱衣室(2部屋)、浴室(2部屋)、機械室、階段(屋内、屋外)廊下用スペース 等

イ 2階

指令室1、事務室、指令室2、食堂兼調理室、倉庫、トイレ(男・女)、洗面室・浴室・脱衣室(男・女)、仮眠室(10室)、廊下用スペース 等

ウ 付属等

合併浄化槽、駐車場(職員用、外来者用)、既存国旗掲揚台等移設、既存フェンス解体等、樹木撤去、ゴミ・リサイクル集積庫 等

5 業務内容

- (1) (仮称) 田川地区消防本部指令センター新庁舎建設工事 実施設計業[建築(外構を含む)・電気設備・機械設備]
- (2) 地質調査
- (3) 建築確認申請業務、必要な許認可申請・届出業務
- (4) 高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線整備更新実施設計業者との綿密な打合せ

※ 令和8年4月1日より、(仮称) 田川地区消防本部消防指令センター新庁舎で指令業務を運用することとしており、本事業と同時進行で高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線整備更新を行うことから、令和7年10月から指令システム、デジタル無線装置等の運搬、設置が行えるよう、1階の機械室、2階の指令室1及びその部屋へ通じる廊下、階段等の工事を完了させ、部分引き渡し可能な工程表を作成すること。

- (5) その他参考資料の作成

* 必要により、特記仕様書を作成する。

6 履行期間

契約締結の日から令和6年(2024年)12月25日まで。

7 その他

本計画概要は、プロポーザルにおける技術提案を提示したものであり、設計業務の具体的な内容や成果品の一部を求めるものではない。具体的な設計作業は、契約後に技術提案書に記載された具体的な取組方法を反映しつつ、発注者が提示する資料に基づいて協議のうえ開始するものとする。